

藝文やまなし

題字 金井 昭堂 (芸術文化協会参与)



平成20年3月号

Vol.18

CONTENTS

- ◆会長随想…………… 2
- ◆県民文化祭への参加状況…………… 3
- ◆各受賞者の紹介…………… 4～5
- ◆部門の紹介…………… 6
- ◆総会・研修会のお知らせ…………… 7
- ◆いんふおめーしょん…………… 7
- ◆国民文化祭の紹介…………… 8



国民文化祭に向けて

山梨県芸術文化協会会長 野口 英一



山梨県芸術文化協会は5年あまり後の挑戦に向けて、新たな取り組みを求められることになりました。2013年度に山梨県で第28回国民文化祭が開かれ、本協会が中心的な役割を担うことになったからです。

年1回、全国の都道府県が持ち回りで開催する国内最大級の文化イベントですが、一般の県民にとって、まだなじみが薄いのは否定できないように思えます。「さて、何をどのように準備していけばいいのか」。一度は腕組みしてしまうようなイベントであることは確かです。

昨年10～11月、徳島県で「おどる国文祭」と銘打って第22回大会が開かれました。総合プログラムを見ると、「なるほど。山梨でもやれそうだな」と思える部分がありました。徳島が誇る伝統芸能・文化である「阿波藍」「阿波踊り」「阿波人形浄瑠璃」とベートーベン「交響曲第九番」を4大モチーフにさまざまなイベントを構成したようです。「阿波」もの三モチーフは、他県の人間にも理解できるのですが、「第九」は「…?」。そう、映画「バルトの楽園（がくえん）」でも紹介されましたが、日本初演の地が徳島の鳴門市だったというエピソードが起源だそうです。

さて、「山梨カラー」ですが、十分に発揮するだけの力があるのではないのでしょうか。伝統工芸系、民俗芸能系…各地域に多彩に保存されているし、文芸系、アート系など基本部分も「風土と文化」に根差して実力は十分。独自事業も、これまでに素案レベルで挙げただけでも「富士山」「ワイン」「ジュエリー」「織物」…。ちょっと思い浮かべただけでも山梨カラー満載です。

通常考えられている芸術性のあるもの、伝統的なものに加え、「衣・食・住」など身近な部分から発信する暮らし文化が、国文祭にイメージされているのは素晴らしいことです。これまであまり顧みられていなかった狩猟肉による「ジビエ料理」など、新たな食文化を掘り起こすことも、このような機会に良いのではないのでしょうか。

国民文化祭が産声を上げたのは1986年で、最初の開催地は東京都でした。この年、山梨県内は「かいじ国体」で盛り上がっていました。体育祭と文化祭—。心をこめた準備さえ整え、山梨カラーをしっかりと打ち出した企画と運営を目指せば、初めての挑戦であっても困ることがないのは、「かいじ国体」で学んだことだと思います。

国民文化祭の準備には、当協会に限らず多くの文化組織が参加します。山梨の文化と人のつながりを、富士山のすそ野のように広く全国へ向けて発信していこうではありませんか。

※8ページにいばらき大会の紹介を掲載しています。

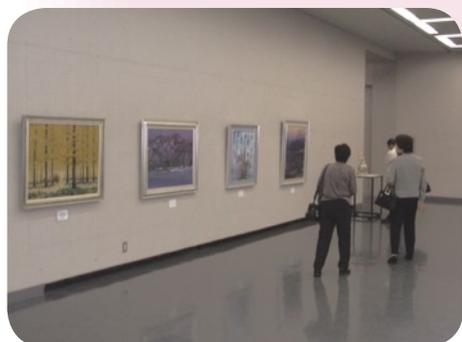
さらに詳しい情報を知りたい方はいばらき大会ホームページをご覧ください。

第7回やまなし県民文化祭への参加状況

総合展示

10月6日（土）から10日（水）芸術の森公園・県民ギャラリー・文学館において「美の饗宴～かぎりなく風林火山へ」と題し、展示部会各部門が参加。県内の指導的立場にある方々の「風林火山」をテーマにした作品143点を一堂に展示した。素心菴では恒例になった茶道部門による呈茶や邦楽部門による演奏も行われ、訪れた方々に優れた芸術文化の鑑賞と併せて心地よいひとときを提供することが出来た。

また、2月13日（水）から17日（日）まで行われた「合同展示」でも展示部会が中心となり運営を担った。



部門別フェスティバル

新たに吟剣詩舞部門と吹奏楽部門を加え、8月の音楽部門を皮切りに発表・舞台・展示部会の各部門それぞれが、特色ある事業を実施し、県民文化祭を盛り上げた。





各受賞者の紹介

平成 19 年度に山梨県芸術文化協会の関係者で「県政功績」「山梨県文化賞」を受賞された方々を喜びの声とともにここに御紹介いたします。

県政功績者賞

受賞に感謝して

鶴田 信俊（一杏）

この度、予期せぬ事とは言え、平成 19 年度山梨県政功績者の教育・文化部門の受賞者の一人として名誉あるこの賞を拝受。いっときいささかの戸惑いと我が身を疑う事と併せて、感激の交叉する思いが致しました。申すまでもなくこの受賞の背景には、県内各種芸術文化団体の大きなお支えと、ご指導があったればこそと改めて衷心より感謝申し上げます。

加えて思うに、来る平成 25 年開催予定の第 28 回国民文化祭山梨県大会は、県民挙げての傾注が大会成功への道であり、力である事はもとより、私自身の微力乍らのご奉仕がどれだけ出来るか、益々もって身の引きしまる思いが致します。



堤 高嶺

山梨県文化賞 奨励賞

「文化賞奨励賞」の喜び

このたびの受賞は、高浜虚子の花鳥諷詠論を肯定した父俳一佳の俳句普及活動の努力のお陰であるとの感慨が深い。

昭和 21 年 8 月、下部温泉に来遊した折りの虚子の句<裸子をひつさげ歩くゆの廊下>の句碑が、昭和 23 年に湯本ホテルに建立された。これを機に俳誌「裸子」を創刊し、ホトトギス俳句を身延沿線の高校でも指導する文化活動を父の俳一佳は実践した。また、大虚子を敬慕しての父の活動は、虚子ならびに高野素十、山口青邨、星野立子の足跡を甲駿にきざませ、今日、文学碑巡りの「裸子の道」として山梨の文化の一つになった。

平成 6 年 6 月に父は逝去したが、46 年にわたる裸子の歴史を私が継承し、平成 21 年 1 月、700 号に達する記念すべき年であるので、受賞の期待に応える活動を致します。



山本 承功

山梨県文化賞 奨励賞

山梨県文化賞奨励賞を受賞して

墨絵に魅せられ、勉強を始めて間もなく半世紀が過ぎようとしています。

1965 年に甲府に戻ってからの活動は、遅々とした牛歩のような歩みで、いつになっても満足のいくものではありません。

こんな私が、この度予期せぬご褒美をいただきました。このことは、私個人への賞でなく、私と一緒に墨の世界、墨絵の勉強をし、衰微傾向にある墨の文化興隆のための諸活動を続ける仲間たちへの奨励と理解し、榮譽あるこの賞を有り難く拝受し、今後の活動の糧として行きたいと考えています。

山梨県は、県内画壇の先生方や行政が、墨絵を理解し、1つの独立したジャンルとして扱う数少ない県のひとつです。この期待を違えることのないよう、そして和風回帰の風潮を斯界に引き込むべく、そのための大きな原動力と位置づけ、深く感謝申し上げます。



山梨県文化賞 奨励賞

県文化賞・奨励賞をいただいて

風間 武幸（耕雲）

このたび山梨県文化賞奨励賞を頂き、大変名誉なことと感激しております。これは偏に山梨県書道会の諸先生方の暖かい御協力によるものと深く感謝申し上げます。

私は書道を志して 50 有余年創作活動に専念して参りました。振り返って見ますと平成 7 年県芸術祭書道部門専門委員、平成 13 年度からやまなし県民文化祭となり以来書道部門専門委員、県書道会理事長就任と同時にその部門長を務めさせて頂きました。県民の 1 人でも多くの方が芸術文化に接し、精神的に豊かで、やすらぎと希望に満ちた生活が出来ますよう今後とも尽力して参りたいと思います。

最後に受賞にあたりご苦労下さいました関係者の方々に心から御礼を申し上げまして、喜びの言葉といたします。本当にありがとうございました。



山梨県文化賞 奨励賞

ラッキーセブンの追い風受けて

滝田 公男

此の度第 7 回やまなし県民文化祭写真部門で祭賞、実賞を戴き又県民文化賞の奨励賞を重ねて受賞する事が出来、誠に幸いな事と感謝の気持ちで一杯であります。これも一重に支えてくれた写真クラブの先輩、仲間と山梨県写真団体連絡協議会の皆様のお陰であると思っております。

今年は 2007 年、第 7 回、小生 77 歳とラッキーセブンの追い風を受けて今喜びを実感しています。目標にしてきた賞だけに忘れる事の出来ない年になりました。

自分では若いつもりでありますが体がついてこない事がままありました。何時間もかけて登る山は無理、これからは身近な自然と向き合いながら新たな発見と感動に出会える事を楽しみに頑張っていきたいと思っております。



山梨県文化賞 奨励賞

山梨県文化賞奨励賞を受賞して

上田 靖子 (蒼蜻)



この度、山梨県文化賞奨励賞を賜り、身に余る光栄と、心から感謝申し上げます。

昭和36年に小原流に入門致しまして、主人の転勤で、東京・青森・浜松と、各地で、華道を続けて参りました。山梨に戻りまして25年、これまで続けてこられましたのもご指導いただきました先生方のおかげと感謝致しております。これからも、山梨の美しい自然に触れながら、華道を続けられる喜びをかみしめ、研鑽をつんで参りたいと存じます。

この受賞を機に、新しい出発として、支えて下さいました方々のお力を、お借りして、山梨の文化向上のために、微力を尽くして、参りたいと存じます。今後ともご指導の程お願い致します。

山梨県文化賞 奨励賞

山梨県文化賞奨励賞を受賞して

七澤 秀人



大学卒業以来38年間、高校音楽科の教諭として音楽教育に全力を尽くしてまいりました。また山梨交響楽団、梨響室内合奏団、高文連オーケストラ、アルレ弦楽四重奏団などの演奏活動を通して多くの学校や病院・施設を訪問して青少年の情操教育に関わってきました。音楽会終了後の子供たちや皆様の「楽しかったよ」の声を聞くたびに私も元気をもらったような気がします。学校現場で音楽の授業などの縮小化が進むなかでは、ますますこのような活動が必要になってくるのではないのでしょうか。今後もいままでの活動を発展させながら、山梨交響楽団OBを中心に設立された「梨響シニアオーケストラ」などの生涯学習活動にも深く関わっていきたくと考えております。

若輩な私の受賞はいささか身が縮む思いですが、これを機にさらに精進していく所存です。

山梨県文化賞 奨励賞

温故知新

郷 晃 (晃輔)



日常的に聞こえてくる音楽一もはや、そこには日本の伝統音楽、まして、尺八の音など皆無である。CD販売店に行けば、純邦楽は流行歌、演歌で「純」の伝統音楽としての邦楽ではない。「温故知新」まさに尺八、又日本の伝統文化としての古典邦楽は特殊な音楽として日本の生活からはなれてしまった。

古いスープを温めて、その新しい味を発見する。これこそ、私達邦楽人に与えられた使命であり、そのスープを温め続ける必要があると感じている。この度の受賞を機に、さらに精進し、伝統を後世に伝えて、日本の音楽を皆様とともに守っていこうと思いました。その中から新しい創造が生まれ、伝統音楽に新しい命が吹き込まれていくと思います。

誠にありがとうございました。

山梨県文化賞 奨励賞

山梨県文化賞奨励賞を受賞して

矢野 和子



好きな舞踊の道に入り、いつの間にか40年という歳月が経過してしまいました。

今、改めて振り返ってみますと、私にとって舞踊は、人生をより豊かに過ごしてこられた大切な財産だった…と思っております。

山梨県芸術文化協会が設立した当初から民謡民部部門に加入させて頂き、諸先輩の方々がしっかりと作り上げて下さいました伝統ある部門に携わることができ、知識豊富な皆様方とお話できる機会を得て、色々学ばせていただいたことなどすべてが私の宝物となりました。

また、この度は荣誉ある文化奨励賞を賜りましたことは、身に余る光栄と深く感謝致し、お支え下さいました多くの皆様に心から御礼申し上げます。

この受賞を励みにこれからも精進を重ね、芸術文化活動発展の為に微力ながら尽くして参る所存でございます。

山梨県文化賞 奨励賞

足達 榮 (安達一栄)



この度は「県民文化賞・奨励賞」を賜り、大変恐縮しております。

これもひとえに、多くの方々に支えられたものと、感謝の念に堪えません。誠にありがとうございました。

父、一要の創流した華道松山古流を継承しながら、フラワーデザイン、植物造形、植物芸術など、魅力溢れる様々な表現方法を探求した50余年であります。今後も自己の研鑽を怠らず、後進の指導及び、微力ではありますが芸術文化の向上に尽力してゆく所存であります。

皆様方には尚一層のご指導ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

“みんなで歌い、支え合い”

合唱部門長 足達 勝子

芸術文化協会合唱部門には、県合唱連盟（90 団体）と県ママさんコーラス連盟（22 団体）の 2 連盟が所属し活動している。主たる活動内容は「やまなし県民文化祭部門別フェスティバル」「やまなし県民文化祭総合舞台」「県民第 9 演奏会」「県民オペラ」への参加をはじめ、連盟主催の「合唱祭」「関東合唱コンクール県大会」「おかあさんコーラス県大会」「ボーカルアンソングルコンテスト」「講習会」「代表者のつどい」などである。

「やまなし県民文化祭合唱フェスティバル」は、各地域の文化協会を通じて活動団体に呼びかけがあり、自由に参加できること、仲間の交流が活発になることなどが魅力となっており、連盟加盟団体は元より、参加団体が着実に増え続けている。

本年度は、シニアグループやジュニアグループの初参加もあり多彩な演奏が繰り広げられた。また、全日本合唱連盟関東支部主催の「関東合唱コンクール県大会」を同時開催にしてからは、さらに参加団体が増え、4 年前から開催期間を 2 日間としている。本年度は、ジュニア・小学校・中学・高校・大学・おかあさん・シニア・一般部門から 48 団体が参加している。

「県合唱祭」も 2 日間開催をしている。各団体の演奏を中心に、合同ステージも加わり、自由にステージ構成ができる「聞いて楽しい・歌って楽しい」なごやかな大会である。

今年度は休演だったが、年末恒例の「県民第 9 演奏会」は、200 余名の合唱団を結成し、山梨交響楽団と息の合った共演で感動のハーモニーを披露している。

「やまなし県民文化祭総合舞台」では、毎年各地域から女声合唱団が出演し、芸術文化協会の他の舞台部門の方々と共演し感動的な舞台を作り上げている。

本年度は、総合舞台を「県民オペラ」年とし、12 月 8 日・9 日に 2 回の公演が行われた。キャストは公募オーディションで選抜されることとなり、県内外を問わず、プロとして活躍している人から高校生まで幅広い層から応募があった。



今回の「ヘンゼルとグレーテル」は、貧しい両親と 2 人の兄妹、魔女と魔法の世界、お菓子の家、魔法をかけられた子供たち等が繰り広げるメルヘンの世界のお話をオーケストラとのコラボレーションで楽しめる舞台である。プロの作り上げる素晴らしい舞台装置、出演者の可愛い衣装、オーケストラの奏でる素晴らしい音楽により舞台は盛り上がり、2 日間の公演は大成功のうちに幕を閉じた。

他の行事では、講習会として「発声法講習会」「指導者のための指揮法講座」「おかあさんのための発声法講習会」などを開講している。どの講座も参加者が多く大好評であった。「指導者のため指揮法講座」では、指導者が冷や汗をかきながら指導を受ける光景にエールが送られる一幕もあった。

まだまだ、ご紹介することは沢山ありますが、平成 25 年には国民文化祭も開催されることを受け、県民のみなさんの温かいご理解とご協力をいただく中で、合唱活動の一層の振興と発展を図るべく努力したいと思っております。



総会・会員研修会のお知らせ

日時 4月26日(土)午後1時30分～

場所 敷島総合文化会館 大ホール

甲斐市島上条 1020 Tel 055-277-9955

総会 ・平成19年度 事業報告及び決算について
 ・平成20年度 事業計画及び予算案について

会員研修会

今回は、山梨県立美術館館長をされている白石和己氏を招いての講演会を開催します。

演題を「技の美一人間国宝の工芸作品を見る」として、魅力溢れるお話をさせていただきます。多くの会員の皆様のご来場をお待ちしています。



～プロフィール～ 白石 和己 (しらいし まさみ)

昭和18年愛知県に生まれる。東北大学文学部東洋・日本美術史科卒業。

東北大学文学部東洋・日本美術史学科助手、群馬県立近代美術館学芸員、東京国立近代美術館主任研究官、文化庁文化財調査官、東京国立近代美術館工芸課長、三重県立美術館館長を経て、平成18年4月から山梨県立美術館館長。

現在、文部科学省文化審議会専門委員(文化財分科会)文化庁登録美術品(工芸品)調査研究協力者会議委員、文化庁新進芸術家国内研修制度選考委員などの公職を務める。主な著書に「伝統工芸 木竹工」(至文堂)、「週刊人間国宝(監修)」(朝日新聞社)などがある。



◇問い合わせ先 山梨県芸術文化協会事務局 (県生涯学習文化課内) Tel 055-223-1797 Fax 055-223-1322

いんぷおめーしょん

会員活動紹介

吟剣詩舞部門

山梨県吟剣詩舞道総連盟

第58回全国吟剣詩舞コンクール山梨県大会

日時：平成20年4月29日(祝・火)・5月25日(日)
 いずれも午前10時開始

会場：山梨県立文学館講堂

内容：4月29日・合吟、連吟、独吟(一般三部)
 5月25日・剣舞、詩舞、独吟(幼・少・青・一般一部・二部)

山梨県詩吟吟詠詩舞総連盟

クラウン吟詠山梨県大会

日時：平成20年4月16日(土) 午前10時より

会場：山梨県立文学館講堂

芸術文化祭(予定)

日時：平成20年10月25日(土) 午前10時より

場所：山梨県立文学館講堂

洋舞部門

足立会・ダンスコンサート・2008

日時：平成20年6月8日(日) 12:30開場 13時開演

場所：県民文化ホール・小ホール

入場：無料(一般券は僅少です)

プログラム：足立志津子作品「れもん色の月」
 深川秀夫作品「ディ・フェーダー」
 深川秀夫作品「グラスノフ・スイート」

ミストレス：大塚礼子・下拂桃子

写真部門

第7回山梨県写真団体連絡協議会合同展

会期：平成20年6月21日(土)～6月27日(金)

会場：山梨県立美術館県民ギャラリーA

内容：連絡協議会加盟の31写真クラブが出展する150点の写真展示

敷島フォトクラブ40周年記念写真展

会期：平成20年7月26日(土)～8月1日(金)

会場：山梨県立美術館県民ギャラリーC

フォトクラブRETURN(リターン)写真展

会期：平成20年8月2日(土)～8月8日(金)

会場：山梨県立美術館県民ギャラリーC

全日写連甲府支部写真展

会期：平成20年8月29日(金)～9月4日(木)

会場：山梨県立美術館県民ギャラリーC

華道部門

第18回山梨県華道協会展

会期：平成20年4月18日(金)～23日(水)
 午前10時～午後7時

但し19日(土)21日(月)は午後5時終了23日(水)は午後3時終了

場所：甲府岡島百貨店7階大催事場

出瓶流派：山梨県華道協会加盟 20流派

平成20年度山梨県華道協会定例総会

日時：平成20年4月20日(日) 午前10時

場所：岡島ローヤル会館 8階

音楽部門

山梨交響楽団 第35回定期演奏会

日時 平成20年6月15日(日)

17:30開場、18:00開演(予定)

場所 山梨県民文化ホール・大ホール

指揮 北原幸男

曲目 ・千住明/交響組曲「風林火山」より「メインテーマ」

・デュカス/交響詩「魔法使いの弟子」ほか

入場料 一般1,500円 高校生以下1,000円(全席自由席)

民謡民舞部門

山梨県舞踊研究会発表会

日時：平成20年5月3日(月)

午前10時開場、10時30分開演

会場：山梨県民文化ホール・小ホール

合唱部門

山梨県合唱連盟定期総会

日時：平成20年4月20日(日)

会場：桃源文化会館

第48回山梨県合唱祭

日時：平成20年6月21日(土)・22日(日)

会場：都の杜うぐいすホール

第63回全日本合唱コンクール山梨県大会

日時：平成20年8月30日(土)・31日(日)

会場：東京エレクトロン韮崎文化ホール

